

パッケージ型自動消防設備

パッケージ型自動消火設備

②

試験項目				種別・容量等の内容	
外観試験	起動装置	配種	管別	——	
		加圧用ガス	容量	MPa	
	受信装置	感知部	感知器	——	
		手動	起動装置	——	
	受信装置	表示灯	スイッチ	——	
		防護	措置	——	
		予備	品等	——	
	放山導管	<u>中継装置</u>			——
		選択弁	機器	等	——
		外形	形状	等	——
		機器	器	等	——
		設置	設置状況	——	——
	放出口	配管	配管系	路	——
		耐震	措置	置	——
		設置方法	配置	等	——
配管との接続			統	——	
電源	放出口	放射	障害	——	
		機器	等	——	
	常用電源 (内蔵型のものに限る。)	常用電源	源	V	
機能試験	作動試験	作動装置 (容器弁開放装置)	置	——	
		指示圧力	計	——	
		バルブ	類	——	
	試験機	圧力調整器	——	——	
		感知部	——	——	
		手動起動装置	置	——	
	警報及び表示	——	——		
	受信装置	置	——		

試験項目				種別・容量等の内容
外観試験	起動装置	加圧用ガス	配管	——
			別	
		感知部	感知器	MPa
	受信装置	手動	起動装置	——
			表示灯・スイッチ	——
		防護措置	——	
	選択弁	予備品等	——	——
			機器等	——
		放出口	外形	——
	機器等			——
	配管		設置状況	——
		配管系		——
		耐震措置	——	——
	放出口	設置方法	配位置等	——
			配管との接続	——
機器		放射障害	——	
電源	常用電源	機器等	——	
		非常電源 (内蔵型のものに限る。)	V	
	機能試験	作動試験	貯蔵容器、加圧用ガス容器等	作動装置 (容器弁開放装置)
指示圧力計				——
バルブ類				——
起動試験		圧力調整器	圧力調整器	——
			弁	——
			感知部	——
受信装置	起動装置	手動起動装置	——	
		警報及び表示	——	
		復旧スイッチ	——	

バックケージ型自動消火設備

③		
試験	項目	種別・容量等の内容
	<u>中継装置</u>	—
	電源自動切替機能	—
	非常電源	—
総合試験	端子電圧・容量	V AH
	選択弁作動状況	—
	音響警報作動状況	—
備考		

- 備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 選択板のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 Aは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築物で内装制限したものと及びCはA及びB以外のものをいう。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電源（内蔵型以外のもの）が設置されているものにあつては、非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

バックケージ型自動消火設備

③		
試験	項目	種別・容量等の内容
	非常電源	—
	端子電圧・容量	V AH
	選択弁作動状況	—
総合試験	音響警報作動状況	—
備考		

- 備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 選択板のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 Aは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築物で内装制限したものと及びCはA及びB以外のものをいう。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電源（内蔵型以外のもの）が設置されているものにあつては、非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。